

様式第77号（副産物要綱第13条第1項関係）  
参考様式4（第13条関係）

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面（様式1）に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出実施

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)					
		現場内利用			減量化 法 コード*11	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		住所コード *4	運搬距離 千 百 十 km	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量 小数点第三位まで				
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで		③減量化量 小数点第三位まで	小数点第三位まで			うち現場内改良分 小数点第三位まで											
資材廃棄物	コンクリート塊	0.000	トン	トン			搬出先1						km			トン	トン	0.000	トン	0	%
	建設発生木材A (柱、ボードなど、製材材が廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン		搬出先1						km			トン	トン	0.000	トン	0	%
	アスファルト・コンクリート塊	0.000	トン	トン	トン		搬出先1						km			トン	トン	0.000	トン	0	%
建設廃棄物	その他がれき類	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	建設発生木材B (立木、散根材などが廃棄物となったもの)	0.000	トン	トン	トン		搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	建設汚泥	0.000	トン	トン	トン		搬出先1						km			トン	トン	0.000	トン	0	%
	金属くず	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	廃塩化ビニル管・継手	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	廃石膏ボード	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	紙くず	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	アスベスト (飛散性)	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	その他の分別された廃棄物	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000	トン				搬出先1						km			トン		0.000	トン	0	%
	第一種建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1						km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0	%
	第二種建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1						km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0	%
	第三種建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1						km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0	%
	第四種建設発生土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1						km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0	%
	浚渫土以外の泥土	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1						km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0	%
浚渫土 (建設汚泥を除く)	0.000	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>		搬出先1						km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0	%	
合計	0.000	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0.000		搬出先2						km			0.000	地山m <sup>3</sup>	0.000	地山m <sup>3</sup>	0	%

コード\*10

1.路盤材 2.裏込材

3.埋戻し材 4.その他

コード\*11

1.焼却 2.脱水

3.天日乾燥 4.その他

コード\*12

施工条件について

1.A指定処分  
(発注時に指定されたもの)

2.B指定処分(もしくは準指定処分)  
(発注時には指定されていないが、  
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)

3.自由処分

コード\*13

【建設廃棄物の場合】

1.売却 8.廃棄物最終処分場(海面処分場)

2.他の工事現場 9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

3.広域認定制度による処理

4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)

5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)

6.中間処理施設(サーマルリサイクル)

7.中間処理施設(単純焼却)

【建設発生土の場合】

1.売却 6.工事予定地・仮置場・ストックヤード  
(再利用の目的がない場合)

2.他の工事現場(内陸)

3.他の工事現場(海面)

7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業

ただし、廃棄物最終処分場を除く

8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)

4.土質改良プラント

9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)

5.工事予定地・仮置場・ストックヤード  
(再利用の目的がある場合)

10.土捨場・残土処分場

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記)  
・ 一般廃棄物は記入しないで下さい。  
・ 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

COBRISにより作成すること